



第318回定例議会速報

主な内容：代表質問（自民：北野議員、民主：山本議員、公明：谷井議員）
 正副議長・関西広域連合議員などを選出 / 議員の所属常任委員会の異動
 ＊新議長に石堂議員（佐用郡）、新副議長に加田議員（長田区）が選出されました

採択された請願：① **B型肝炎・C型肝炎患者の救済を求める請願**
 ② **国による総合的な過労死防止対策を求める請願** → 右ページに詳細

警察常任委員会所属決定！

平成25年6月から警察常任委員会所属となりました。県警察行政について深く学び、改善提言につなげて参ります。もちろん、これまで所属していた農政環境分野に関しても引き続き全力で取り組んで参ります！

警察の役割

1. 犯罪の予防活動

= 交通整理・パトロール・違反切符処理・職務質問・飲酒検問 など
 → 犯罪や事故を未然に防ぐ役割（被害者も犯人の発生も防ぐ重要任務）

2. 犯罪の解決活動

= 証拠や犯人の捜索・取調べ・逮捕・検察官送致 など
 → 犯罪が起きてしまった後、犯人を捜査し事件解決を目指す活動
 再犯（同一犯人によるの繰り返し）を防ぎ、犯人がちゃんと捕まり刑罰を受けることで、一般国民に「悪いことはやめておこう」と思わせ、将来の犯罪を防ぐ。



県警なんでも相談電話
 078-361-2110

近年、空き交番（交番はあっても警察官が常駐できていない）など人員不足が起きています。退職された警察官を再任用して交番に配置する“交番相談員”の制度や新任警察官の離職率低減や女性警察官増員など、人員の確保にも力を入れています。

■ 私達にできること ■

特に自転車やバイク、自動車、自宅の鍵かけを徹底し防犯の意識をさらに高めて下さい！そうすれば、自転車盗などの軽微事件が減り、パトロールや交番常駐など重大犯罪の予防や捜査に、限られた警察官の手が活かされることとなります。

3. その他の役割

- 防犯灯、防犯カメラの設置、助成（自治会や商店街の要望に応じて設置費用の補助）
 ＊三田市内（公共空間）では現在39箇所に48台の防犯カメラが稼働中
- 各種営業や車、道路関係の許認可
- 交通安全
 道路標識・ガードレール・信号機等のハード整備や交通指導員による指導、通学路の安全点検 など



全国の都道府県議会で初めて「過労死防止法（仮）」請願が採択！

国の膨大な借金や公的年金・保険制度の負担増だけでなく、「労働条件の未整備」も若者世代へ回された大きなツケです。

本来であれば、労働者を守る「労働基準法」の遵守徹底を進めるのが筋ですが、残念ながら長い間それができない状況（政治の歪み）が続いています。

今回の請願は労働者保護に関する別の（もう一本の）柱を立てようとする取り組みです。是非とも国会（法律制定）までの今後の動向にご注目下さい！

過労死とは 「働き過ぎを原因とする死」で、長時間労働による疲労や精神的負荷が過度に蓄積すると心身の健康を損ない、ついには死に至るとされます。

脳内出血や心筋梗塞など身体が破綻するのが「過労死」、うつ病の発症など精神が破綻するのが「過労自殺（過労自死）」です。国内で失われる自殺者（年間約3万人）の中には（原因が明らかにされないままの）多くの過労自殺が含まれていると言われています。

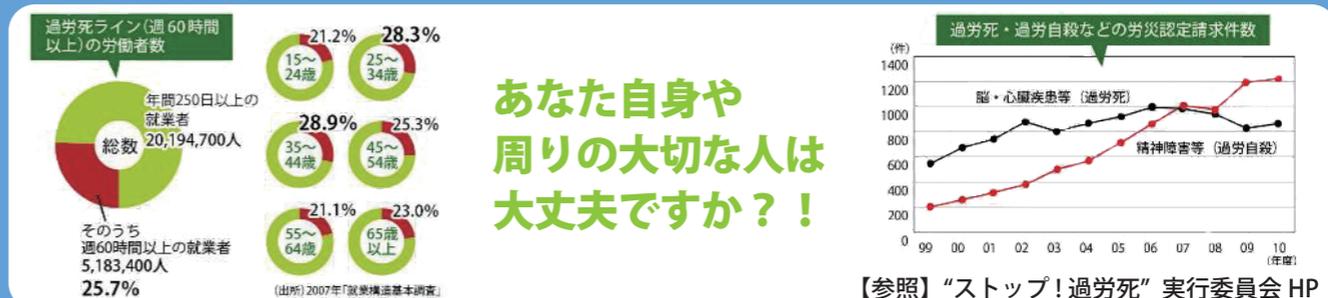
過労死の発生件数と「過労死予備軍」

2010年に労災が認定された事例は過労・ストレスによる脳・心臓疾患285件（うち死亡は113件）、精神疾患308件（うち自殺は65件）ですが、実際に労災請求されるのは氷山の一角に過ぎません。さらに、後遺障害や自殺未遂も含めると、過労の犠牲者は数万人に達していると考えられます。

また、**過労死の認定基準**とされている「週40時間を超える時間外労働が1か月100時間、又は2か月以上平均して80時間を超えている人（一週間の総労働時間が60時間以上）」は、数百万人いるといわれています。

「日常の忙しい業務」と「死につながる激務」の間には目に見える境界線はありません。本人も気付かずにその線を越えてしまうのです。

行政を含めた周りからブレーキをかけなければなりません！



背景：企業の海外移転・産業の縮小→国内労働市場が超・買い手市場（雇用主優位）

対策：①働き方の多様化：人材の海外進出（留学促進）やワークシェアを進める一方で、「正規」「非正規」に関わらず労働内容に応じた均等待遇の確保（同一労働同一賃金）

②産業を興こす：新たな産業（製品技術）の登場により産業全体が刺激され、新たな結びつきや循環、活力が生まれます。

技術革新 + 投資（モノ・カネの循環）→産業の成長・全体の活性化

